

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重症児デイサービスあいキッズ（放課後等デイサービス）

公表日 2025年9月29日

利用児童数 11

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8				内覧しか中を見ていないので実際は分からない。	あいのカタチはバリアフリー設計された施設となっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1		7	週に一度なのでこの活動の時には当たった事はありません。	家族交流会や運動会等の参加型企画に日常に近い活動を取り入れるなど工夫を凝らしていきたいと思います。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	8					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1		3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	7			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	8					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	7			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	8					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8					
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表

事業所における自己評価結果

公表日 2025年9月29日

事業所名		公表日 2025年9月29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	利用児によってベッド設置や体に合わせた設置場所、エアコンの位置等考えていると思う。	ひとりひとりの状態を考えながら温度設定、場所を話し合いながら考えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12	2	日や時間帯によってスタッフが足りない、多い等あるがなんとかなっている。	今後も適切な人員配置を心がけます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14		広くバギーが動かしやすい。手洗い場の足元にバギーが入りづらい。蛇口が伸びない点が残念。	手洗いは洗面器などの道具を使うなど工夫して行っていければと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14		広く明るく心地よく子供が活動しやすい。	広さを生かした活動を取り入れていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用 することが認められる環境になっているか。	13	1	その状況になったことがないので分からない。ショートステイ用の個別のお部屋。広くスペースのトイレ、プライバシーが守られる環境。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	1	ミーティングがあり、スタッフ全員が参加できるようにになっている。	参加できないスタッフにはミーティング後数日で議事録を見ることができるようになります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	定期的に管理者と保護者の面談があり、業務改善に繋がっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	3	個々の職員が意見を言える場がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	4	第三者による評価は見たことがない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	1	研修はオンラインでも開催されており参加しやすい。	今後も人材育成センターと協力しながら研修を提供していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		リハビリは定期的なミーティングがありプログラムが検討されている。	個別支援計画及び専門的支援実施計画書に基づき発達支援を提供しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14		児童発達支援員さんがプランを作成している。それに対しての話し合いも行われている。	周囲の意見を十分聞き取りしながら今後も計画作成をすすめていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14		児童発達支援員さんがプランを作成している。それに対しての話し合いも行われている。	子どもの同席、参加が課題になってます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14		児童発達支援員さんがプランを作成している。それに対しての話し合いも行われている。	個人個人でファイリングを行い、いつでも見ることができるよう配慮しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3	標準化されたツールが不明。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14		児童発達支援員さんがプランを作成している。それに対しての話し合いも行われている。	5項目を意識しながら計画立案作成を行っています。活動計画時も同様です。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14		療育チームとリハビリチームが協力しあっている。	時間確保が課題となっています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		療育チームとリハビリチームが協力しあっている。	職員全体に働きかけながら固定化しないよう工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14		専門職それぞれが意見を出し合って計画をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		専門職それぞれが意見を出し合って計画をしている。	朝のミーティングを行い連携した支援を行うことができるようにしています。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	4	次の日の朝に前日の振り返りを行っている。	朝ミーティングにて情報共有を行っています。一定の時間確保が課題。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12	2		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			普段から関りのある職員が会議に参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14			学校から情報提供を受けたり、保護者と連絡を密にとりながら情報を共有しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	5		就学前の利用事業所とは連絡を取っていません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	9		まだ交流する機会を設けたことはありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	9		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14		管理者が定期的に保護者と面談を行っている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	6		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1	利用契約時に行われている。	わかりやすく説明できるよう配慮しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		面談により保護者の意見を取り入れている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14		面談により保護者の意見を取り入れている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		面談により保護者の意見を取り入れている。	今後も適切な時期に面談をしながら助言支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	5		年一回は保護者との交流を図ることができるような機会を企画しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14			不定期ではありますが事業所通信を発行しています。SNS（インスタグラム）にて情報発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			個人情報には鍵付き棚に入れる。いらない書類はシュレッダーにかける等十分留意しています。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	1	ソルラウンジを利用したイベント等参加しやすそうで良いと思った。地域住民を招待して年中行事の計画を立てている。	今後検討していくことになります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14		検討中。	BCPIは各事業所にて作成済みではあるが、法人全体としての対応が必要なので現在チーム作りを行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	1		医師からの指示書ではないが、母から検査結果を教えてもらい対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	2		ミーティングで情報共有を行い、対応策を全員で検討し、次へつなげています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	2		人材育成センターと連携しながら
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	4	ミトンの使用（チューブ類の抜去予防）	使用のタイミング等を保護者の方と十分に話し合いながら使用しています。